



2020年東京オリンピック・  
パラリンピック競技大会に向けた

## 木更津市の取組方針

平成30年6月

令和2年4月 改訂

木更津市



## 1 取組方針策定の目的

この方針は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「大会」という。）の開催が、本市の取組む自立・循環・共生の理念に基づく「オーガニックなまちづくり」を一層推し進める新たな契機となり、市民、関係団体、国や県、近隣自治体等の多様な主体と連携を図りながら、事前キャンプの誘致、国際交流の進展、スポーツ・教育・文化の向上、経済・観光振興などの取組を推進し、今後のまちづくり・人づくりに寄与するレガシー（未来へ受け継がれるもの）を創出し、本市の発展と未来を担う次の世代へ繋げるための指針とします。

## 2 取組の方向性

大会の趣旨等を踏まえ、次に示す4つの方向性に沿って、多様な取組を進めます。

### （1）事前キャンプ誘致に向けた取組の推進

国際交流の進展、近隣自治体とのサポート体制の構築、市民の大会に対する気運醸成に繋がる事前キャンプ誘致に向けた取組を展開します。

### （2）国際・文化交流の推進と共生社会の実現

大会参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る「ホストタウン」の取組を軸とした国際交流イベントを通じ、多様性を尊重する共生社会の実現、市民ボランティアの人材育成などを展開します。

### （3）スポーツの普及と健康づくり

トップアスリートによるスポーツ教室やイベントなどを通じて、次世代アスリートの育成、障がい者競技への理解、生涯スポーツの推進、市民の健康増進などに繋がる取組を展開します。

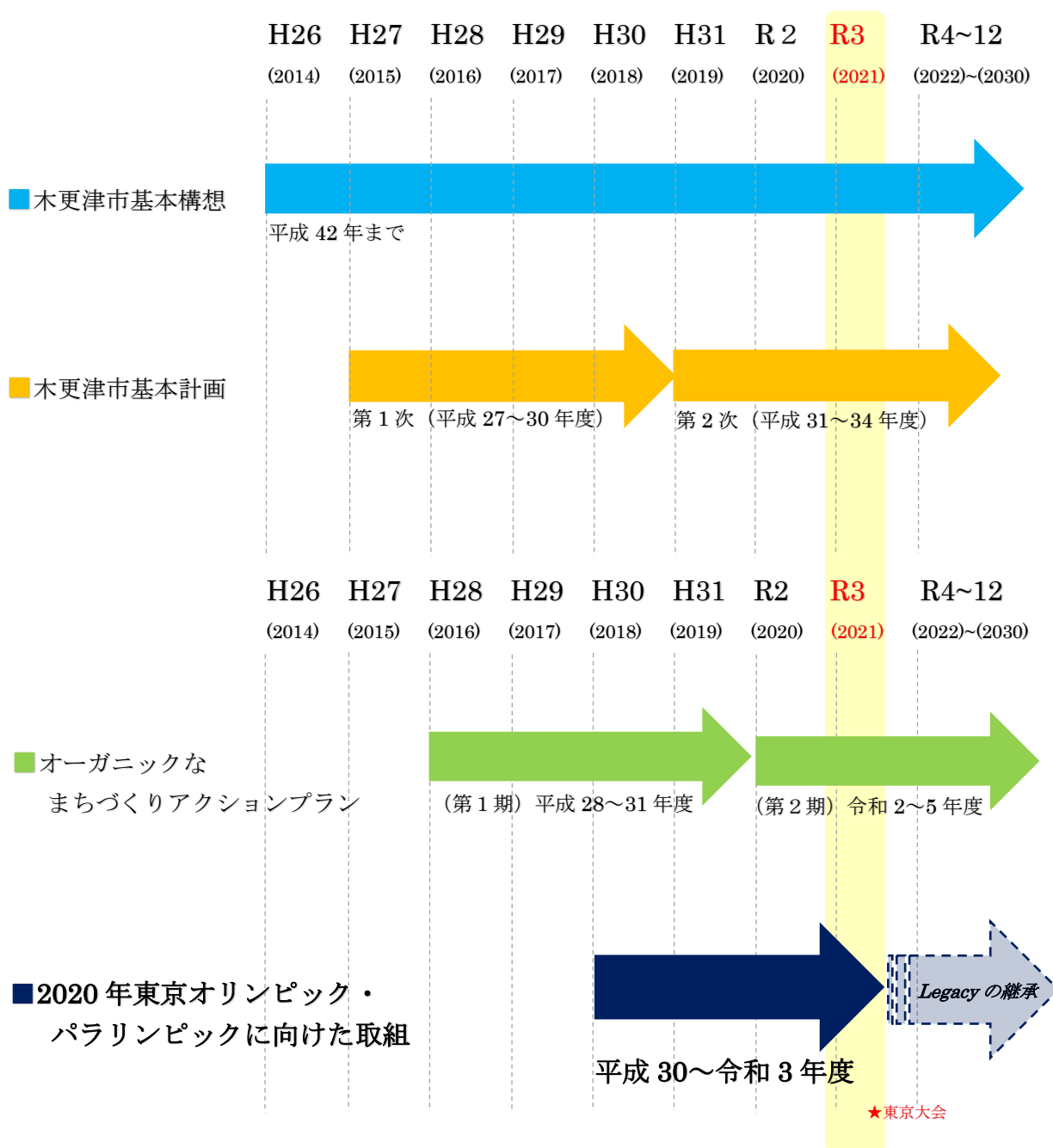
### （4）おもてなし・魅力発信・快適なまちづくり

本市は宿泊施設が充実し、国内外から数多くの観光客が来訪されることが見込まれることから、大会終了後のリピーター確保に繋がる市内を回遊させる仕組みや、魅力ある情報発信、地域特産品の販売を促進します。

また、公共交通機関・公共施設などにおける安全性、利便性、回遊性の向上と魅力ある景観形成に繋がる取組を展開します。

### 3 取組の期間

本方針は、大会に向けた取組を示すもので、平成30（2018）年度から令和3（2021）年度までを基本とします。



## 4 取組の内容

### (1) 事前キャンプ誘致に向けた取組の推進

#### ① 事前キャンプ誘致の取組

令和元年6月に共用開始した、江川総合運動場内の陸上競技場をはじめとする公共体育施設に加えて、市内教育機関等の体育施設を活用し、様々な種目のトレーニング環境を整え、豊富な宿泊施設と東京に近接した良好な環境で実現可能な利点をアピールした事前キャンプ誘致に取り組めます。

#### ② 競技施設の活用と利便性の向上

大会終了後も市民のスポーツ振興に寄与するよう、必要に応じた競技施設の整備・改修を検討するとともに、事前キャンプが円滑に行われるよう近隣自治体・関係団体等と連携し、利便性の向上に努めます。

#### ③ 安全対策の徹底

競技施設や宿泊施設などで選手やコーチ関係者等の安全が確保されるよう、病院や警察、消防等、医療・警備体制の連携を図り、事前キャンプ実施期間中における安全対策の徹底に努めます。

#### ④ 聖火リレーの誘致

市民の大会に向けた気運の醸成を図るため、本市での聖火リレー実施を実現するための積極的な誘致に取り組めます。

### (2) 国際・文化交流の推進と共生社会の実現

#### ① 国際交流イベント等の実施

ホストタウンの取組を軸に、大会参加国等との国際交流イベントなどを開催し、市民の国際交流と国際理解を深める取組を推進します。

## ②文化プログラム等の実施

大会の開催に伴い、市民の気運を高めるため、国や大会組織委員会が推進する文化プログラム等への積極的な参加を促進します。

## ③教育プログラムの充実

市内小中学校等において、外国人講師等による語学力向上や多文化共生、多様性への理解を深めるための教育プログラムを充実させ、国際社会で活躍する人材育成に取り組めます。

## ④市民ボランティアの育成

大会を支えるボランティアの普及と多くの市民が積極的に大会に関わる環境を作るため、事前キャンプ実施国の文化や歴史、習慣や食文化、宗教などの違いを尊重し、円滑なコミュニケーションのとれるボランティアの育成に努めます。

## ⑤心のバリアフリーの推進

高齢者も若者も、障がいのある人もない人も、性別、国籍、文化の違いに関わらず、誰もが多様性を理解し、お互いを尊重し合い「心のバリアフリー」を実践できる社会の実現を目指します。

# (3) スポーツの普及と健康づくり

## ①スポーツ教室、イベント等の実施

トップアスリートや事前キャンプ実施国選手らとの交流イベントやスポーツイベントなどを通じて、子どもたちをはじめ多くの市民が身近に競技と触れ合える機会を作り、スポーツに対する関心の向上、健康への意識の醸成を図ります。

## ②障がい者スポーツの普及と啓発

障がい者スポーツとパラリンピック公式種目の紹介や体験等を通じ、障がい者スポーツの普及と啓発に努めます。

### ③生涯スポーツの推進

市民がそれぞれのライフステージに応じて、スポーツに親しめる活動を推進し、運動意識の向上と生涯スポーツに繋がる環境づくりを進めます。

## (4) おもてなし・魅力発信・快適なまちづくり

### ①旅行客需要の喚起とおもてなし推進

宿泊施設や飲食店、商業施設などと連携し、大会を契機に本市を訪れる国内外からの旅行者増加を促す取組や、おもてなしの心を発揮する取組を推進し、地域経済の活性化に繋がります。

### ②国内外に向けた情報発信

東京から近距離に位置する本市に多くの来訪者が訪れるよう、様々な情報発信ツールを用いて、歴史・文化・観光資源などの魅力、交通手段・宿泊施設等の利便性を分かりやすく発信します。

### ③案内サインや Wi-Fi 環境等の整備

国籍や年齢を問わず、誰もが快適に過ごせるよう、市内各施設の案内板における多言語表記化やピクトグラムの充実、Wi-Fi 環境の整備などを推進します。

### ④地元特産品を活かした商品プロモーション

地元で愛され、来訪者にも喜ばれる、地元農産物や海産物等の特産品を活かした商品開発に力をいれ、販売の促進に取り組めます。

### ⑤公共交通機関の利用促進

円滑な回遊性の確保に向け、市民や来訪者が快適に移動できるよう、鉄道やバス等の公共交通機関の利用を促進します。

### ⑥バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進

公共交通機関、公共施設などにバリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れた社会の形成を目指し、すべての人にやさしいまちづくりを推進します。

⑦魅力ある街並み・景観づくり

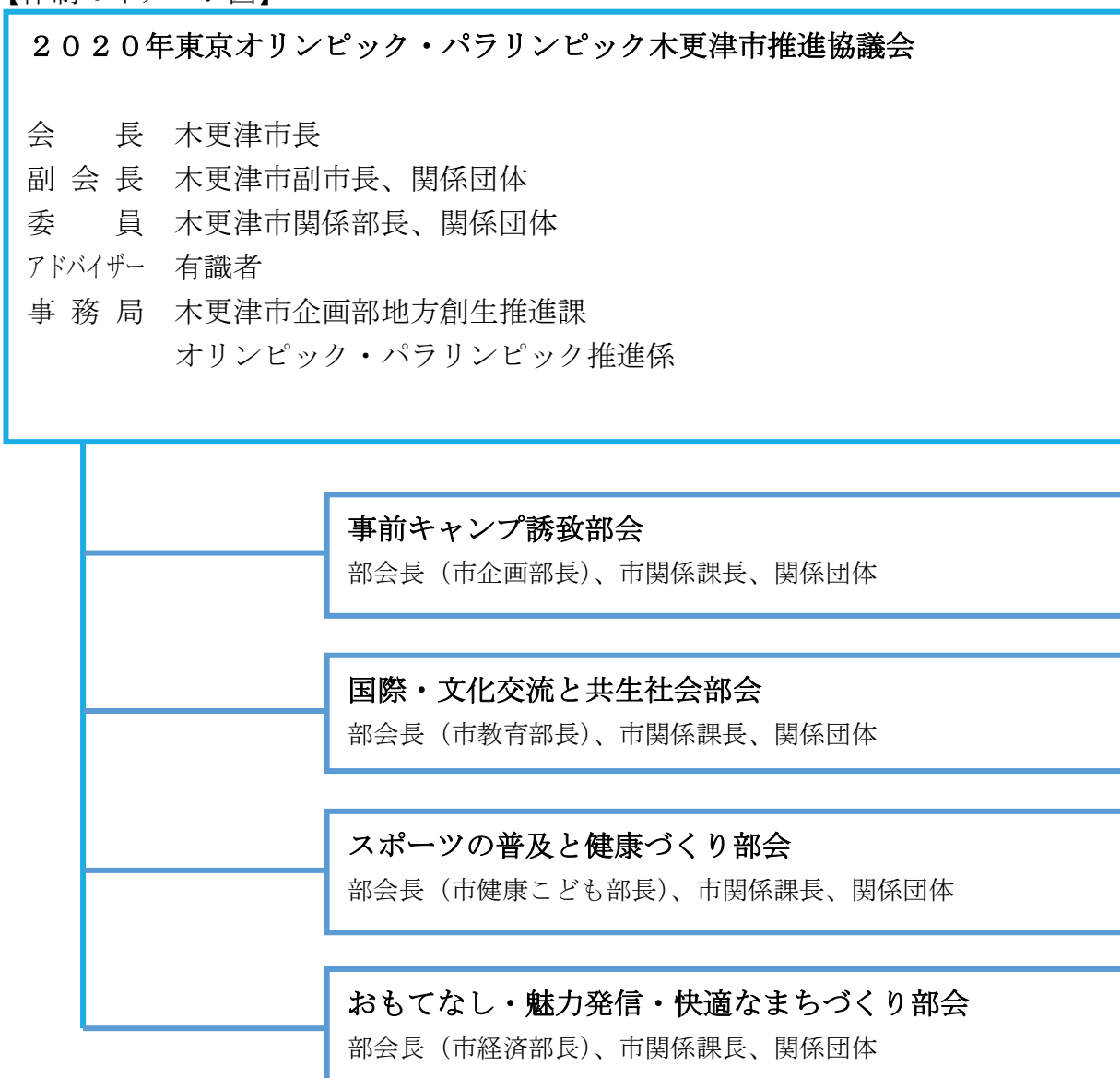
ごみのない街、きれいな街としてのイメージ向上を図るため、魅力ある街並みや景観づくりを推進します。



## 5 推進体制

市及び関係機関・団体、企業、市民等による「2020年東京オリンピック・パラリンピック木更津市オリンピック・パラリンピック推進協議会」及び、「各部会」を設置し、情報の共有や具体的な事業の検討を行います。

### 【体制のイメージ図】



※協議会・部会等の体制、委員は必要に応じて変更・追加を行います。

## 6 連携・協力

- (1) 市役所だけでなく、関係機関・団体、企業、市民や学校などに広く連携・協力を仰ぎながら、「オール木更津」としての取組を推進していきます。
- (2) 千葉県、(公財)ちば国際コンベンションビューロー、近隣自治体、大会組織委員会などと連携していきます。

## 7 各種支援の活用

国・千葉県等の補助制度など、各種支援制度の動向把握や情報共有を進め、積極的な活用を図ります。

